

**事業所名** グループホームもたろうの郷さわやか苑  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 4月29日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター  
B:現職 特別養護老人ホーム勤務  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・ホームは、国道30号線から少し入った所にあり、バス停も近く、交通の便の良い場所に立地している。交通量は多いが、建物の中は車の騒音もほとんど聞こえず、静かな環境である。近くには、商業施設、飲食店、警察署などがあり、生活にも便利である。幹線道路から一歩中に入れば、田園風景もあり、自然を感じながら生活ができる。
- ・経営母体は医療法人であり、身体機能の低下予防、維持・向上に配慮し、歩行訓練などが必要な入居者には、医師の指示のもと個別の支援も行われている。
- ・地域との交流が積極的に進められている。老人会を中心に、運営推進会議などの機会を通して具体的な交流の方法について住民側からも提案がなされている。年間を通して、一緒にできる行事が複数回あり、交流の輪が広がっている。

職員間の連携がよくとられており、コミュニケーションも良い。職員の穏やかな態度、丁寧な言葉づかい、笑顔での対応は、入居者や家族にも安心が得られる。入居者からは、一人ひとりが自由に自分のペースを保ちながら穏やかに生活していることがうかがえる。訪問の機会などを通して、家族の思いも汲み取るように努力しており、入居者にとっても家族にとっても良い方法を考えながら支援している。

- ・ホーム内で毎月勉強会を開催したり、外部の研修にも出かけ、サービスの質の向上に向け、知識・技術の習得に努めている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特筆すべきことはなかった。

- ・毎月発行する「たより」も写真が入っており、入居者の生活ぶりがよく分かる。今後は、「たより」に個人用のスペースを設け、担当者からの一筆を添えとさらに良くなるのではないかと思う。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>・入居者の過ごしてきた暮らしを大切に、その人らしい生活が継続できることをめざしている。職員は入居者一人ひとりのニーズや意向をしっかり把握し、入居者が自由に自分のペースを保ちながら、したい時にしたい事に取り組めるような生活を支援している。</p> <p>・地域の人たちとの交流を持ちながら、入居者が地域の一員として生活していけることをめざしている。老人会を中心とした地域住民の理解や職員の努力により、年々良い関係が広がりつつある。</p> <p>・入居者の望むことやこうありたいということの実現に向けて手伝いをしていきたいと考えており、家族の意向や気持ちにも配慮しながら調整を図っている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>・法人内の異動も最小限にし、職員とのなじみの関係を大切にしている。また、職員同士の情報交換を密にし、打ち合わせも十分にしてお互いの不安がらせないように配慮している。</p> <p>・自分が入院していると思い、毎日相談に来られる入居者もおられるが、入居者の現実を否定せず傾聴するなど、入居者の思いを受け入れ支援している。</p> <p>・入居者が出来そうなことを見つけ、それぞれが役割を持てるように支援しており、自由に自分のペースで取り組めるよう、無理強いはいしないようにしている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>・入居者一人ひとりの出来そうなことを見極め、活動を支援している。入居者は、調理の下ごしらえ、洗濯物たたみなどの家事や、ぬり絵、プランターの手入れなどできることに取り組んでいる。</p> <p>・一人暮らしが長かった入居者は、食器を洗うことを自分の役割とされており、入居者の気持ちを尊重し、負担にならないよう2~3人分の食器を洗ってもらっている。多いかなと感じた時には、「多いけどこれ位ならいいかなあ」など本人の気持ちを確認している。</p> <p>・入居者のプライバシーに配慮し、入室時のノックやトイレに誘導する時の声は小声にするなど徹底している。</p> <p>・自分の洗濯物は自分の居室に干したいといわれる方には、入居者の気持ちを尊重して対応している。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>・毎月1回、グループホーム内で接遇、介護技術、職員のストレスケア、感染症、誤嚥性肺炎、口腔ケア、バイタルサインなどの研修を行い、職員のスキルアップを図っている。外部研修にも参加し、報告書を提出している。</p> <p>・事故報告書、ヒヤリハット報告書が作成されている。事故対策会議が開催されており、事故の防止、再発の防止に向け、話し合いが行われている。</p>		